

令和4年度 倫理委員会案件

令和5年3月14日現在

受付番号	承認日	申請事項	申請者		概要
			職名	氏名	
R4-7-1	2023/3/14	共同作業時に重度統合失調症者の主観的健康状態の把握に努める事の意義について	課長補佐 (作業療法士)	大畠久典	第57回日本作業療法学会（2023年11月10日～12日）発表予定。訪問作業療法時に主観的健康状態を取り上げながら生活の気がかり事への対処を考え、共同作業をした結果、セルフケアに意識を向け、就労継続支援B型の利用を開始した重度統合失調症者に対する事例報告から、共同作業時に主観的健康状態の把握に努めることの意義について報告する。
R4-6-4	2023/1/23	思春期の自己臭恐怖症の治療の一例	医師	山岸由利香	第131回近畿精神神経学会（2023年3月4日）発表予定。14歳女兒、小学生時代は活発だったが、私立中学校進学後、交友関係が消極的になる。腹鳴やおならの臭いを気にし始め、周囲との会話に敏感になり不登校となり当院を紹介された。本症例では本来社会的だった本児が慣れない学校環境で孤立感を募らせ被害的な認知から自己臭恐怖に発展したが、入院下での同世代の関係が拡大するなかで症状が減少された一例を報告する。
R4-6-3	2023/1/23	「オランザピンが脅迫症状の一因と推測された統合失調症の一例」	医師	米村正嗣	第131回近畿精神神経学会（2023年3月4日）発表予定。統合失調症の治療として薬物療法は必須であるが、抗精神病薬の中には一部脅迫症状を増悪させるとの報告がなされているものもあり当症例に関してもオランザピン投与開始後に脅迫症状が増悪し、中止にて改善を認めためたため、薬剤選択においての検討事項のひとつとして重要であると考えたため発表する。
R4-6-2	2023/1/23	精神科病院入院患者における抗精神病薬による便秘発現と対応	医師	茂木香織	第131回近畿精神神経学会（2023年3月4日）発表予定。抗精神病薬のうち、便秘の高頻度薬剤、中頻度薬剤、低頻度薬剤を選出し、これら薬剤の使用患者のべ58名について、年齢、性別、便秘発症頻度、重症度、錐体外路症状の有無、及び便秘薬の使用状況、種別などを調査し、抗精神病薬と便秘の発現状況、便秘薬の効果的な使用について考察する。
R4-6-1	2023/1/23	重度統合失調症者に対して好む作業に焦点を当て危機状況時の自己対処ツールを開発した一例	職員 (作業療法士)	森川梨菜	令和4年度兵庫県立病院リハビリテーション部門第2回教育研修会において発表予定。重度統合失調症患者に対して、本人好みの作業を活用し作業療法介入を行った結果、危機状況時の自己対処ツールを開発できた症例について報告する。
R4-5-1	2022/12/26	国立精神神経医療研究センターからの研究協力依頼 別紙の、「精神科救急性期医療入院料病棟における新規入院患者の状態像等の実態把握に関する研究」に協力する	院長	田中究	研究は「次期診療報酬改定における精神科救急性期入院料の施設要件、患者要件の見直しに関する提言を行うことを検討している」とあり、当センターでかねてより議論されていることに一致していること。患者データの収集であるが、個人情報の特定につながる情報を含まず、また患者への直接的なアンケートを含まず侵襲性をもたず、実施可能である。また、国立精神神経医療研究センター倫理委員会の承認を得た研究である。
R4-4-1	2022/10/11	コロナ禍における自閉症の子どもの居場所ーコロナ感染者専用病棟を設置した精神科医療機関の立場から考えることー	院長	田中究	2022年第63回日本児童青年精神医学会松本総会（2022.11.10～12）の災害対策委員会セミナーのテーマが「コロナ禍における自閉症の子どもの居場所」となった。委員会委員であり、当センターのコロナ病棟が自閉症児2例を扱っていたことから「コロナ感染者専用病棟を設置した精神科医療機関の立場から考えること」として、その経過および自閉症をもつ子ども、特に強度行動障害をもつ子どもの感染症下での居場所のなさについて報告し、その経験からこうした子どもの居場所の構築についての論点をまとめ、今後のあり方について提言する。

R4-3-2	2022/8/15	ひょうごこころの医療センターの外来療育～精神科単科病院での療育実践報告～	主任 (作業療法士)	大石麗奈	日本発達障害学会第57回研究大会(2022年12月24日～25日)発表予定。当院におけるこれまでの外来療育の実践状況(件数や内容等)について調査し発表する。
R4-3-1	2022/8/15	「ゲームの使い方と子どもたちの変化」のアンケート調査	主任 (作業療法士)	大石麗奈	日本発達障害学会第57回研究大会(2022年12月24日～25日)発表予定。当院外来療育にてゲームを用いることについてアンケート調査を実施する。(2021年5月1日～2022年5月31日、外来療育でゲームを用いたことのある子どもとその保護者)調査期間2022年8月9日～9月16日
R4-2-2	2022/8/15	当院における新型コロナウイルス感染症への対応 その2-単科精神科病院における患者の特徴とその対応から見えてきたこと-	精神科部長兼 脳神経外科部長	曾我洋二	当院におけるこれまでの新型コロナウイルス感染症への対応について報告する。
R4-2-1	2022/8/15	当院における新型コロナウイルス感染症への対応 その1-発熱患者が精神科救急体制に与えた影響と公立単科精神科病院での対応について-	精神科部長兼 脳神経外科部長	曾我洋二	当院におけるこれまでの新型コロナウイルス感染症への対応について報告する。
R4-1-1	2022/6/8	アンケート内容と実施に関する審議	看護部次長	高田ゆかり	看護師対象に精神科病院における「倫理的課題」に関するアンケートを行い、現状の把握と課題に対応する。県CNS・CN合同会議で調査結果を提出する。

### 令和3年度 倫理委員会案件

受付番号	承認日	申請事項	申請者		概要
			職名	氏名	
R3-6-2	2022/3/7	主観的健康状態を考慮した統合失調症者に対する作業療法介入	課長補佐 (作業療法士)	大畠久典	第56回日本作業療法学会(2022年9月16日～18日)発表予定。作業療法目標の合意形成と患者の課題遂行時に主観的健康状態をツールとして用いて評価し、把握することが有用であった統合失調症者に対する作業療法介入について事例報告をする。
R3-6-1	2022/3/7	統合失調症患者に対する認知機能検査結果に基づいた課題設定が作業療法介入に有用であった一例	課長補佐 (作業療法士)	大畠久典	第42回近畿作業療法学会(2022年6月12日)発表予定。認知機能検査BACS-Jの結果に基づき課題設定をした作業療法介入が統合失調症患者に有用であったことから事例報告をする。
R3-5-2	2021/12/3	ARP患者における抗酒剤への意識調査～薬剤師の役割を考察する～	職員 (薬剤師)	南野希	アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP)参加者に対してアンケート調査を行い、薬剤師が関わることによる抗酒剤への意識変化を明らかにするとともに、薬剤師が果たすべき役割について考察し、報告する。 第44回日本病院薬剤師会近畿学術大会他、発表予定。

R3-5-1	2021/12/3	10代統合失調症者に対する不安定症状の遷延化を防ぐ個別の作業療法	職員 (作業療法士)	福羽みのり	第27回兵庫県作業療法学会（2021年12月5日～26日）発表予定 統合失調症患者に対し、個別で継続した関わりを行うことで症状の改善が見られた一例について考察し報告する。
R3-4-1	2021/11/4	入院治療における集団心理療法的要因	心理判定員	増尾徳行	日本精神分析学会第67回大会（2021年11月5日～7日）で発表予定 ある統合失調症患者の入院治療を精神分析的観点から検討することを通じて、それが治療に携わるもの全員の関わる集団心理療法的性質であることについて考察し報告する。
R3-3-1	2021/10/8	「ゲーム使用と健康に関する全国親子調査」の依頼の受諾について	院長	田中究	ゲーム使用の問題を持つ方とご家族を対象とした調査、ゲーム使用の問題でお困りの方やご家族の特徴を明らかにすることで、今後の研究が発展することが期待される。東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科精神保健看護分野が実施するアンケート調査に参加する。2026/3/31迄（9歳～29歳当院外来患者概ね40名）
R3-2-1	2021/8/24	当院入院中のA氏にかかる胃瘻造設についての検討（臨床倫理的側面、胃瘻造設についての同意における法的側面）	院長	田中究	統合失調症のため長期入院している誤嚥性肺炎を頻回に繰り返すA氏に対する胃瘻造設にあたって、後見人の同意がなくても、本人同意で医療行為実施に法的な問題が生じないかの検討。
R3-2-2	2021/8/24	当院におけるクロザリル療法に対する薬剤師の役割	職員 (薬剤師)	田畑佳祐	第43回日本病院薬剤師会近畿学術大会（2022年2月14日～27日）発表予定 2020年4月～7月にクロザリル療法を受けている20/4～2021/7のCLZ療法している患者に対する薬剤師による処方・検査確認、処方提案内容を調査し、薬剤師の積極的な介入の効果について考察し、報告する。
R3-1-1	2021/7/14	Collaborative use of a crisis plan for people with severemental illness（重度精神障害者に対するクライシスプランの共同利用練習）	課長補佐 (作業療法士)	大畠久典	第8回世界作業療法学会（2022年3月27日～30日）で発表予定 重度精神障害をもつ患者に対して訪問作業療法においてクライシスプランを共同作成し、利用練習を行った。共同利用練習の有用性について報告する。
R3-1-2	2021/7/14	医療安全対策委員による与薬手順遵守に向けた取り組み	看護部次長	高田ゆかり	日本精神科看護協会兵庫県支部看護研究発表会（2021年10月11日）発表予定 与薬専用トレイ活用に取り組み、取組に対する看護職員へのアンケート調査により、与薬手順遵守に向けた取組の有効性について考察し、報告する。
R3-1-3	2021/7/14	入院中に作成したクライシスプランの退院後の評価～A氏の場合～	職員 (看護師)	山本大貴	日本精神障害者リハビリテーション学会第28回愛知大会（2021年12月11日～12日）で発表予定 クライシスプラン作成による看護介入の評価、退院後の使用状況について明らかにすることで今後のクライシスプランでの看護介入へ活かすための評価について報告する。
R2-7-1	2021/4/14	重度統合失調症者に対する訪問作業療法におけるクライシスプランの共同利用の試み	課長補佐 (作業療法士)	大畠久典	第55回日本作業療法学会（2021年9月10日～12日）で発表予定 重度精神障害をもつ患者に対して退院後の地域定着に向け、退院前に共同作成したクライシスプランを、退院後の訪問作業療法において共同利用練習を行った事例について報告する。

R2-7-2	2021/4/14	訪問作業療法目標を重度統合失調症者に対し介入毎に確認することの意義	課長補佐 (作業療法士)	大島久典	第41回近畿作業療法学会(2021年6月6日)で発表予定 重度統合失調症者に対して作業療法目標とそのためアプローチ内容を訪問作業療法介入毎に実施計画書を共に見ながら確認する取組事例について、考察した結果を報告する。
R2-7-3	2021/4/14	精神科専門病院における認知症ケアチームによる認知症ケアラウンド介入効果と今後の課題～対話出来る関係性を重視した介入を目指して～	主任 (看護部)	杉田顕好	老年看護学会で発表予定 精神科専門病院において、認知症看護認定看護師、精神科認定看護師を中心とした認知症ケアチームが、双方向の対話を意識した院内ラウンドを実践し、管理者へのインタビュー、スタッフ向けのアンケートから、ケアチームの介入効果を明らかにして、発表する。

## 令和2年度 倫理委員会案件

受付番号	承認日	申請事項	申請者		概要
			職名	氏名	
R2-6	2021/3/10	児童・思春期精神疾患の診療実態把握と連携推進のための研究	院長	田中究	子どものこころの病気や発達障害の患者さんがどのように治療を受けているのかを明らかにし、こころの病気や発達障害を持つ子どものよりよい治療体制を整えるため国立成育医療研究センターが実施する研究に参加する。(2015年4月1日～30日に入院した20歳未満の初診患者さんのデータを報告)
R2-5-1	2020/12/18	日本脳神経外科学会データベース研究事業への参加について	精神科部長兼 脳神経外科部長	曾我洋二	脳神経外科医療の実態を可視化し、改善策の検討や施設、地域や全国単位での医療の水準を明らかにする等のため、日本脳神経外科学会が主管する実態調査に参加する。(2021年12月18日から2023年9月30日までにCTを主体とし画像診断を行った入院及び外来患者)
R2-5-2	2020/12/18	全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査	副院長	葛山秀則	精神科医療の現場における実態把握と薬物関連精神疾患の回復に役立つ対策を考える資料とするため、国立精神・神経医療センターが実施する全国調査に参加する。(2020年9月1日～10月31日にアルコールを除く薬物使用に関連した精神疾患の患者)
R2-4-1	2020/10/14	激しい自傷行為や解離症状を繰り返す患者への介入	看護師長	中井佐江子	第51回全国児童青年精神科医療施設協議会(2021年2月5日～6日)で発表予定 頭部打撲、異食等の自傷行為、器物損壊等の問題行動が常態化しているためスタッフは患者の問題行動に意識が向き疲弊していた。問題行動の減少に向けて、多職種協働で介入方法を検討した結果を明らかにして、報告する。
R2-4-2	2020/10/14	拒薬のある長期入院中の統合失調症患者にblonanserinテープ剤を導入し、自宅への退院が可能となった1例	職員 (薬剤師)	高井英里	第42回日本病院薬剤師会近畿学術大会(2021年1月30日～31日)で発表予定 拒薬の強い長期入院中の統合失調症患者に対して、blonanserinテープ剤を導入に際し多職種で情報共有と患者家族への指導を行い、精神症状が軽減し、自宅への退院が可能となった事例について報告する。

R2-3	2020/8/26	精神科単科病院におけるNSTの役割 —セルフケアへのアプローチを行った 症例を通じて—	主任 (看護師)	市村麻美	第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会(2021年2月18日～19日)発表予定 嚥下障害がある統合失調症の患者に対しNSTを行った。患者のセルフケア向上 に繋がられるよう取り組んだ過程から精神科単科病院におけるNSTの役割を考 察し、今後のNST活動の可能性について報告する。
R2-2	2020/8/25	重度精神障害者に対する地域定着に向 けた訪問作業療法での共同作業の試み	課長補佐 (作業療法士)	大畠久典	第26回兵庫県作業療法学会(2020年12月6日)発表予定 2019年7月～2020年3月までの期間に訪問作業療法の対象となった患者について、 チーム連携のもと訪問作業療法を実施したことによる地域定着への有用性につい て報告する。